

宮本三郎、画家としてⅡ

混沌を貫け
花開く絵筆

1950s-
1970s

2021 10.16(土) — 2022 3.13(日)



宮本三郎《静寂》1974年

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

開館時間 | 10:00~18:00 (最終入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)

1月10日(月・祝)は開館、1月11日(火)は休館、年末年始(12月29日~1月3日)

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。
証明書をご提示のうえ、お申し出ください。*()内は20名以上の団体料金 *小・中学生は土、日、祝・休日は無料

宮本三郎、画家としてII

混沌を貫き 花開く絵筆

1950s-1970s

1974
昭和49年

10月、都内の病院にて逝去。
享年69

1973
昭和48年
68歳

『画集 宮本三郎 花と風景と女』を毎日新聞社より刊行。

1967
昭和42年
62歳

二紀会理事長に就任。「花と裸婦を描く 宮本三郎作品展」が東京・日本橋で開催後、名古屋と大阪に巡回。この頃より花と裸婦を主題とした作品展を精力的に開催。

1964
昭和39年
59歳

東京オリンピック開催にあたり原画を制作した国立競技場のモザイク壁画《より速く》《より高く》の除幕式が開催。

1963
昭和38年
58歳

《妻と私と》が東京国立近代美術館に収蔵。《熱帯華》が東京都美術館に収蔵(現・東京都現代美術館蔵)。ユネスコ日本国内委員会委員に就任。

1953
昭和28年
48歳

帰国後、多摩美術大学絵画科教授に就任(66年まで)。東京・銀座、大阪で滞欧作品展を開催。

1952
昭和27年
47歳

2度目の渡欧。フランス、イタリア、スペイン、ギリシャをめぐり。

1950
昭和25年
45歳

自ら設立にかかり、終戦後の1946年から教鞭をとった金沢美術工芸専門学校を辞任。

2021年度の宮本三郎記念美術館では、洋画家・宮本三郎(1905-1974)の画業を、年間を通して2期に分けてご紹介します。画家としての出発から従軍画家としての仕事、終戦直後の作品までをご紹介します第1部を経て、第2部となる本展では、戦後から最晩年までの宮本の仕事をご覧いただきます。日本の洋画家としての決意を胸に、表現者として葛藤した時期を経て、円熟の晩年期へ転換してゆく道筋を辿ります。

MIYAMOTO
SABURO

《芥子と立藤》1967年

この頃、鮮やかな色彩と大胆なタッチで生命力と躍動感に満ちた花々の作品を描く。



《乳牛》1958年

ドリップングのような手法を採用して描かれた乳牛。1950年代半ばに日本の美術界を席巻したアンフォルメル運動を強く意識した作品。



《ヴィーナスの粧い》
1971年

「神話」を主題に取り入れることで、人物画、とりわけ裸婦像を神秘的で華やかな様式に発展させた。



《梅林 熱海》1970年頃

伸びやかな筆の動きが印象的な風景画。



《黄色バックの花》
1961年頃

黄色の色面が背景にして華やかな作品。画面の外へと飛び出していきうような自由なタッチは、50年代の作品と一線を画す。



《うづくまる裸婦》1957年頃

抽象表現が国際的に流行するなかで、独自の絵画的回答を模索していた頃の作品。大胆な構図で切り取られた裸婦を点描のなかに表現している。



世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

【交通案内】

- 電車＝東急東横線・大井町線「自由が丘」駅より徒歩7分／東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分／東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分
- バス＝東急バス(渋11)田園調布駅～渋谷駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分／東急バス(園01)田園調布駅～千歳船橋駅「浄水場前」下車徒歩10分

世田谷美術館分館
清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
TEL. 03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

清川泰次 水のある風景と昭和の人々
10月16日(土)～2022年3月13日(日)



世田谷美術館分館
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016
東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL. 03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

生誕120年 向井潤吉の歩みと作品 ― 向井が愛した家具とともに
10月16日(土)～2022年3月13日(日)



〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL. 03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



世田谷美術館

〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
TEL. 03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

【展覧会のご案内】
TEL. 050-5541-8600(ハローダイヤル)

同時開催展

企画展

※企画展は日時指定予約制です

ミュージアム
コレクション

塔本シスコ展 シスコ・パラダイス
かかずにはいられない! 人生絵日記

9月4日(土)～11月7日(日)

生誕180年記念 グランマ・モーゼス展
―― 素敵な100年人生

11月20日(土)～2022年2月27日(日)

ミュージアムコレクションⅡ
ミュージアムコレクションⅢ 美術と音楽

それぞれのふたり
大沢昌助と建畠寛造 9月11日(土)～11月21日(日)

12月4日(土)～2022年4月10日(日)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び抑制のため、ご入館に際し、マスクの着用、検温のご協力をお願いしております。混雑時は入場制限をさせていただきます場合がございます。

※ 展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。最新情報は、当館ホームページ等でお知らせします。